

| | | | | | | | |
|---------|------|------------------------|----|------|------|-----|---|
| 学年 | 高校1年 | 教科 | 芸術 | 科目 | 美術I | 単位数 | 2 |
| 教科書名 | | 高校美術1（日本文教出版） | | 副教材名 | 画材など | | |
| コース・クラス | | 中高一貫、選抜・N進、 スポーツ・芸能 | | | | | |

1. 目標

- ・美術の幅広い創作活動を通じて美的体験を豊かにし、美術を愛好する心を育てると共に、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばす。

2. 授業のねらい

- ・美術の表現や鑑賞の基礎を学び、さまざまな創作活動に必要な技能を高める。自分の良さを発見し、美しさを感じ取る感性を高め、表現する楽しさや作品鑑賞の喜びを味わう。表現及び鑑賞における幅広い活動を通じて、生涯にわたり美術を愛好する心情を養う。

3. 授業の進め方

- ・参考作品（教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品）の鑑賞を通じて自分の作品の方向性を考え、色々な資料を集めて、課題に沿ったアイデアスケッチを数枚描く。
- ・スケッチから作品にまとめて制作に入り完成させる。完成後は他の生徒の作品を鑑賞し、その良さや美しさを味わう。
- ・「すずかけ祭」で作品の展示を行う。
- ・週2時間の美術の授業を美術室で行う。

4. 学習上の留意点

- (1) 今後の学習や制作につながるような規則正しい行動を習慣づけさせる。
- (2) 個人の考えや、課題に対する適性を理解し、柔軟に対応する。
- (3) 提出物の期限を守る。作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

5. 定期試験

定期試験は行わない。

6. 評価の方法

技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出期限を守れたかなどを評価の視点とする。また、出席状況や授業態度も重視する。

7. 授業計画

| 学期 | 月 | 単元・学習項目 | 評価方法 | 到達目標 |
|-----|----|---|-----------------|---|
| 一学期 | 4 | 鉛筆デッサン | デッサン提出 | <ul style="list-style-type: none"> ・デッサンにおける鉛筆の使用方法与鉛筆の硬さの違いと種類を知る。 ・すずかけ祭で展示する。 ・与えられたテーマに沿って、視覚伝達できるポスターを制作する。 |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆模写 ・与えられた名画の印刷物を参考にしてオリジナリティーを加え模写する。 | 絵画作品を提出 授業態度 | |
| | 6 | ポスター制作 | | |
| | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・企業のコンクールに出品する作品の制作 | | |
| 二学期 | 9 | デザイン工芸 | 作品提出 | <ul style="list-style-type: none"> ・色々な道具の使い方をいかし、エスキースに忠実な作品を仕上げる。 ・計画性を持って制作する。 ・機能性を重視、かつ楽しめるデザインを考える。 ・切る・削る・掘る・磨くなどの加工方法を工夫する。 ・木の特性を生かした作品を制作する。 ・質感を表現するために表面の仕上げを丁寧に行う。 |
| | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・切絵の制作 ・自由な世界観のあるエスキースをもとに切り絵を制作する。 彫刻 | 授業態度 | |
| | 11 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーナイフの制作 | | |
| | 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・普段使用するのに適切なデザインを考える。 ・こだわりのあるデザインを考える。 | | |
| 三学期 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂絵の具を使って制作 ・与えられたテーマに従い想像力の豊かな作品制作をする。 | 作品提出 | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを理解し、完成度の高い作品を制作する。 |
| | 2 | | 授業態度 | |
| | 3 | | | |

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。